

エキスパートに学ぶ アレルギー薬物療法



座長



社会医療法人三栄会
ツカザキ病院 眼科 部長

福島 敦樹 先生

アレルギー性結膜炎患者は本邦で約2,000万人いると言われています。季節性アレルギー性結膜炎の患者が最も多く、痒み、充血及び結膜浮腫といった症状は、日常生活の妨げとなるため多くの患者の悩みの種となっています。本セミナーでは眼科と耳鼻科の立場から、それぞれの領域で活躍されているエキスパートの先生方より、アレルギー薬物療法について最近の知見をご教授いただきます。また、近年結膜抗原誘発試験を用いることにより、アレルギー性結膜炎の症状所見を高い再現性をもって検出できるようになってきました。今回、季節性アレルギー性結膜炎を想定した結膜抗原誘発試験による抗アレルギー点眼剤の評価と、新たな評価指標の導入による更なる発展の可能性についてご教授いただきます。

2022年
4月17日(日)
7:45~8:45
第7会場
大阪国際会議場
10階1009

アレルギー性結膜炎の 薬物療法について

演者



日本大学医学部
視覚科学系眼科学分野
臨床教授

庄司 純 先生

アレルギー性鼻炎の 薬物療法について

演者



日本医科大学
耳鼻咽喉科学講座 主任教授
大学院医学研究科頭頸部・感覚器科学 教授

大久保 公裕 先生

スギ花粉抗原を用いた 結膜抗原誘発試験による オロパジン点眼液の評価

演者



東邦大学医療センター
大森病院眼科 教授

堀 裕一 先生

共催：第126回日本眼科学会総会／ロートニッテン株式会社

株式会社日本点眼薬研究所は2022年4月1日にロートニッテン株式会社に社名を変更いたします。

日時 2022年4月17日(日)
7:45~8:45

場所 第7会場
大阪国際会議場 10階1009

エキスパートに学ぶ アレルギー薬物療法



座長 福島 敦樹 先生 (社会医療法人三栄会ツカザキ病院 眼科 部長)



1990年 高知医科大学 卒業
1993年 米国国立眼研究所免疫学部門 留学
1996年 高知医科大学眼科学 助手
2000年 ジョージア医科大学分子医学遺伝学研究所 留学
2004年 高知大学医学部眼科 助教授(准教授)
2008~2020年 高知大学医学部眼科 教授
2020~2021年 瞳クリニック
2021年 ツカザキ病院眼科 部長

演者 庄司 純 先生 (日本大学医学部 視覚科学系眼科学分野 臨床教授)



1985年 日本大学医学部 卒業
1989年 日本大学医学部大学院外科系眼科学 卒業
1990年 銚子市立総合病院 眼科医長
2002年 日本大学医学部 兼任講師
2004年 庄司眼科医院 院長
2007年 日本大学医学部視覚科学系眼科学分野 臨床教授

演者 大久保 公裕 先生 (日本医科大学 耳鼻咽喉科学講座 主任教授/大学院医学研究科頭頸部・感覚器科学 教授)



1988年 日本医科大学大学院 卒業
1989年 米国国立衛生研究所 NIH アレルギー疾患部門 留学
1993年 日本医科大学耳鼻咽喉科講師 准教授
2010年 日本医科大学大学院医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野 教授、
日本医科大学医学部耳鼻咽喉科 教授

演者 堀 裕一 先生 (東邦大学医療センター 大森病院眼科 教授)



1995年 大阪大学医学部卒業 大阪大学医学部眼科学教室入局
2001年 米国ハーバード大 スケペンス眼研究所 研究員
2006年 大阪大学医学部眼科 助手(助教)
2009年 東邦大学医療センター佐倉病院眼科 講師
2011年 東邦大学医療センター佐倉病院眼科 准教授
2014年 東邦大学医療センター大森病院眼科 教授